

標準原価計算①

番号 () 氏名 ()

1 標準原価計算とは

製造業は、他社との競争で優位を保つために、安くて、品質のよい製品を提供しなければならない。

例：薄型テレビ パナソニック，東芝，日立，ソニー，シャープなど

① 原価管理 …… 原価の水準を引き下げ，維持していく経営活動
例：カイゼン (Kaizen)

② 標準原価計算 …… 原価管理に役立つ資料を提供する原価計算の手法

- 標準原価 — 科学的，統計的な調査にもとづいて設定・計算されたデータ
- 実際原価 — 製品を製造するために実際にかかった原価



「むだ」「不能率」を発見し，カイゼン活動につなげる

2 原価標準の設定

原価標準 …… 計算の基礎となる資料のこと

標準原価カード …… 原価標準は標準原価カードによって示される

標準原価カード			
	標準消費数量	標準単価	金額
直接材料費	2 k g	@ 150円	300円
	標準直接作業時間	標準賃率	
直接労務費	0.5時間	@ 800円	400円
	標準直接作業時間	標準配賦率	
製造間接費	0.5時間	@ 1,000円	500円
	製品1個あたりの標準原価		<u>1,200円</u>

生産データ

月初仕掛品	400個 (50%)
当月投入	<u>3,600個</u>
合計	4,000個
月末仕掛品	<u>500個</u> (80%)
完成品	<u>3,500個</u>

3 標準原価の計算方法（完成品，月末仕掛品）

完成品原価 円

内 訳：標準直接材料費 円

標準直接労務費 円

標準製造間接費 円

月末仕掛品原価 円

内 訳：標準直接材料費 円

標準直接労務費 円

標準製造間接費 円

標準原価計算②

番号 () 氏名 ()

4 生産データ整理方法

完成品	3, 500個
月初仕掛品	400個 (50%)
月末仕掛品	500個 (50%)

① 生産データ (材料費)

月初仕掛品	400個
当月投入	<u> () 個</u>
合計	() 個
月末仕掛品	<u> 500個</u>
完成品	<u><u> 3, 500個</u></u>

② 生産データ (労務費・製造間接費)

月初仕掛品	個
当月投入	<u> () 個</u>
合計	() 個
月末仕掛品	<u> () 個</u>
完成品	<u><u> 3, 500個</u></u>

5 直接材料費差異の分析

直接材料費差異 $\left[\begin{array}{l} \text{a 材料消費価格差異} \cdots \text{市価の変動, 材料仕入活動の適否など} \\ \text{b 材料消費数量差異} \cdots \text{作業上の失敗, 生産方法の変更など} \end{array} \right.$

例題) 次の資料から, 直接材料費差異を分析してみよう。

直接材料費は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

① 生産データ (材料費)

月初仕掛品	500個
当月投入	<u> () 個</u>
合計	() 個
月末仕掛品	<u> 600個</u>
完成品	<u><u> 3, 000個</u></u>

② 標準原価カード（一部）

	<u>標準消費数量</u>	<u>標準単価</u>	<u>金 額</u>
直接材料費	5 k g	@ 3 0 0 円	1, 500 円

③ 実際直接材料費

<u>実際消費量</u>	<u>実際価格</u>	<u>実際直接材料費</u>
15, 650kg	@302 円	4, 726, 300 円

直接材料費差異 円 ()

分析：材料消費価格差異 円 ()

材料消費数量差異 円 ()

※ () には有利差異または不利差異を明示すること。

《図解》 説明を聞きながら図を完成しよう

【分析の表現方法】

標準原価 < 実際原価の場合

不利な差異, (-) マイナス, 借方差異

標準原価 > 実際原価の場合

有利な差異, (+) プラス, 貸方差異

【問題】 次の資料から、直接材料費差異を分析してみよう。ただし、直接材料費は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

① 生産データ (材料費)

月初仕掛品	400個
当月投入	<u> </u> 個
合計	<u> </u> 個
月末仕掛品	<u>500個</u>
完成品	<u>3,500個</u>

② 標準原価カード (一部)

	<u>標準消費数量</u>	<u>標準単価</u>	<u>金額</u>
直接材料費	2kg	@ 150円	300円

③ 実際直接材料費

<u>実際消費量</u>	<u>実際価格</u>	<u>実際直接材料費</u>
7,260kg	@152円	1,103,520円

直接材料費差異 円 ()

分析：材料消費価格差異 円 ()

材料消費数量差異 円 ()

※ () には有利差異または不利差異を明示すること。

番号 () 氏名 ()